

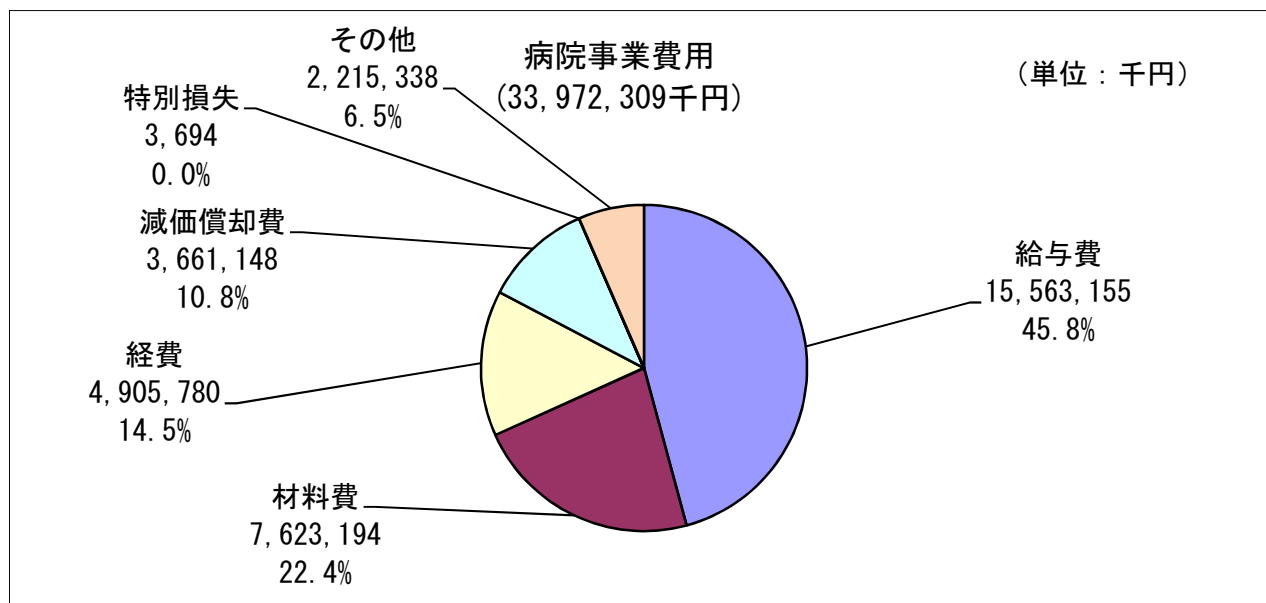
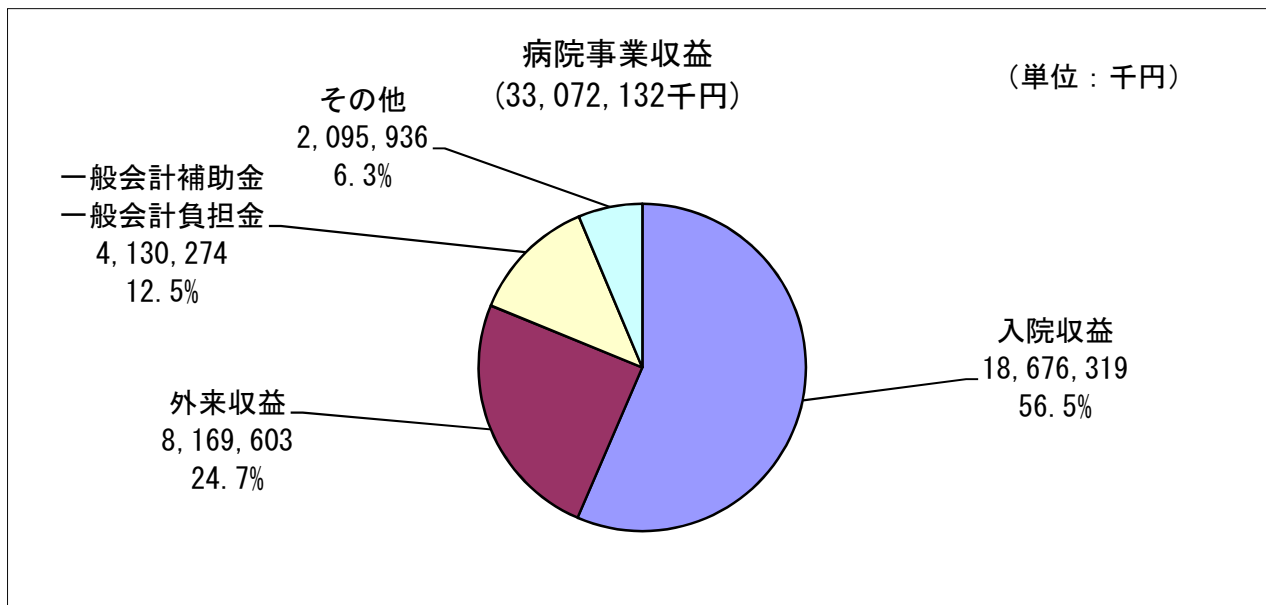
名古屋市病院事業会計 平成30年度決算の概要

1 病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の3市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

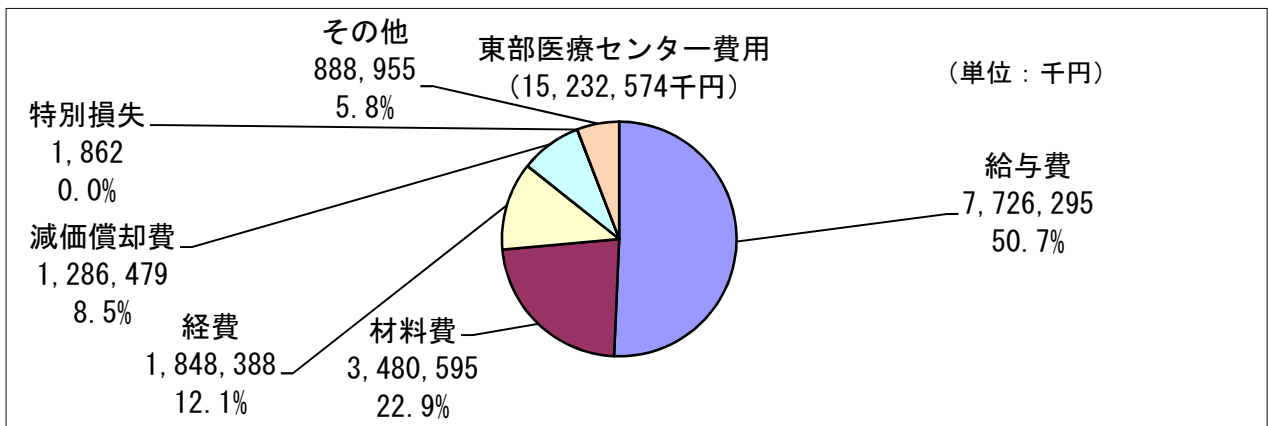
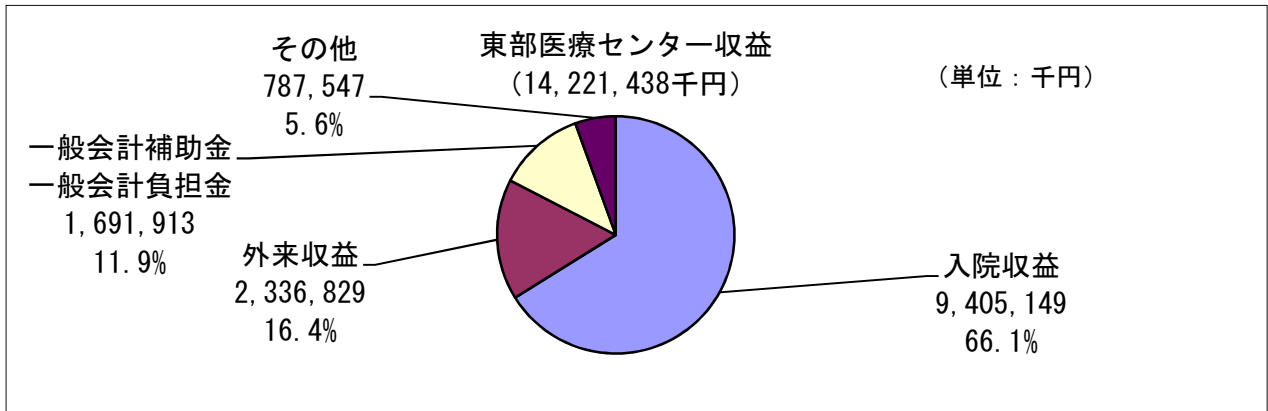
平成30年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどに伴い、12億6千百万円余増の330億7千2百万円余であるのに対し、総事業費用は、材料費が増加したことなどに伴い、13億5千3百万円余増の339億7千2百万円余となりました。その結果、9億円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は104億9千2百万円余となりました。

平成30年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは病棟改築工事、西部医療センターでは病歴管理室改修工事を行い、東部医療センターの自動血球分析装置、西部医療センターの電子内視鏡システム、緑市民病院の電子カルテ携帯端末など、各病院の設備充実に努めました。

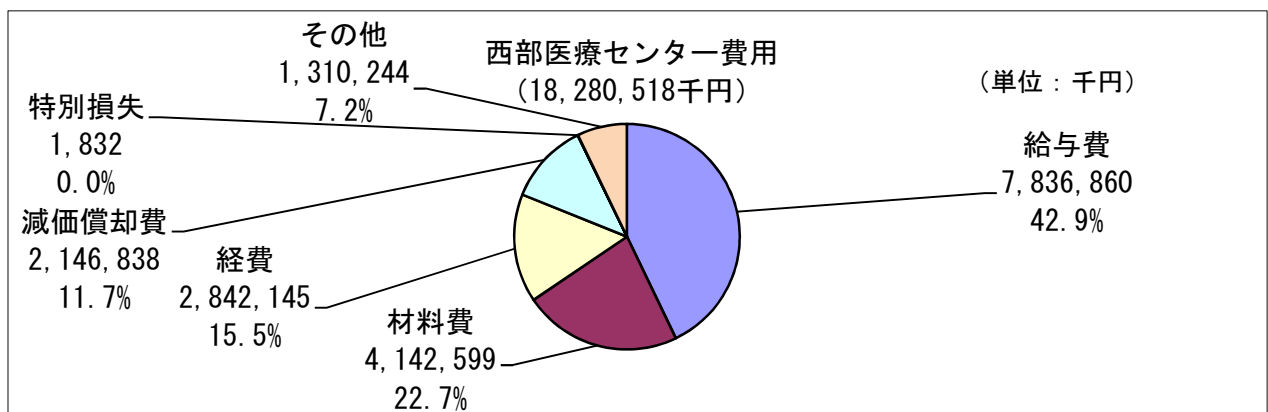
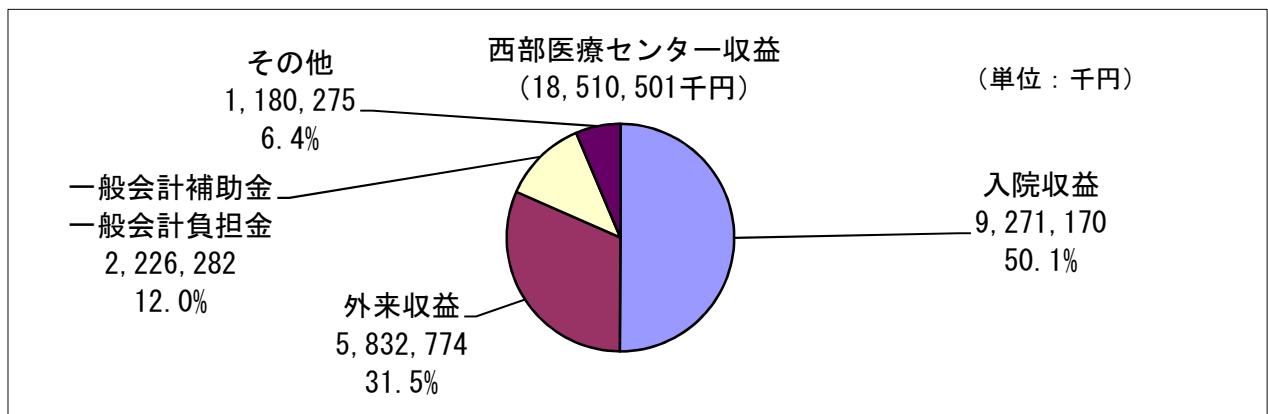


2 各病院の収支

(1) 東部医療センター



(2) 西部医療センター



(3) 緑市民病院

